

## 一橋陸上競技倶楽部理事会議事録

日時 : 平成 29 年 12 月 19 日 (火) 18:30~20:30 理事会  
20:30~21:00 懇親会

場所 : 如水会館 5 階会議室 (懇親会は 14 階会員食堂)

出席者 (敬称略) :

(理事会) 浜田、岩瀬、平田、田島、井田、中村 (龍)、陶山、日渡、伊丹、中村 (英)、大鳥羽、川村  
後藤 (監事)

(学生幹部) 高島新主将、浅沼新副将、河野新主務、星新会計、浅井津田塾主将

### 1、理事会メンバーと学生新幹部の顔合わせ

学生側幹部が新体制になったことに鑑み、理事会に招きお互いに親しくなるために全員自己紹介をした。

### 2、OB・OG 訪問中間報告

井田理事から資料に沿って 12 月 15 日時点での成果の報告がされた。東京都・埼玉県・神奈川県に勤務する H1 年~H25 年度卒業の OB・OG93 名を訪問対象として展開し、学生側の積極的取組の結果、12 月 15 日までに 60 名の OB・OG を訪問、年会費未納者からは 25 名 26 万円 (昨年度分と今年度分合せて支払ってくれた OB および年会費既納の上さらに好意で支払ってくれた会員を含む) の集金成果。浜田会長からは「大成功だった。未納会員からの集金率も高いレベルと思う。」と。一方、今回の訪問活動を通じて、「来てくれて嬉しい」という OB・OG の反応を肌直に感じた学生側も「今まで顔を合わせたこともなかった先輩方と親しく話を交わして、OB・OG 訪問活動は良かった」とする評価が大勢だった旨、高島主将から報告があった。今後の課題として、時期は授業出席に大きな影響の出ない夏か冬に行ってほしいと学生側の希望。対校戦などの動画活用について動画そのものは良く編集されていたが、訪問時に全部見てもらう時間的余裕がなかった。URL を書いたメモを予め準備して面会時に手渡して「時間ある時にご覧ください」という持って行き方など、ツールの活用方法に一捻り工夫が必要。また、OB・OG 名簿で一部古い内容のままの OB・OG がいた為連絡が付かなかったケースが散見。今回新たに名簿内容の変動があった人の情報も名簿担当中村龍太郎理事にも上がっているので、引き続き一層の名簿充実を通じて、来年の OB・OG 訪問活動の効率化を図ることとする。

### 3、一橋陸上競技倶楽部 H29 年度仮決算および H30 年度予算案について

平田会計担当理事から資料に沿って説明がなされた。H29 年度の年会費収入がこの調子でいくと 322 万円+αが見込まれる。この状況をベースとして今期決算より特別会計からの取り崩しの無い形で着地させ、来期予算についても極力、特別会計からの振替のない編成を考えていきたい旨の説明がなされた。部誌を学生に配布する際に一定のお金を徴収してきている事やユニフォームを新規入部部員に 1 人 1 万円の補助をしてきている事などについて、「学生からは徴収しなくてもよいの

では」という意見が田島理事から提起され、また後藤監事からは「田島理事の気持ちも理解しつつ、この線引きは多面に関係して来るので十分な検討も必要だ。」と発言があった。浜田会長から「本日の理事会では急いで結論付けはせずに、次回まで各理事の意見を聴き集めて検討すること」と指示あり。

#### 4、グラウンド・用器具・備品類の整備について

岩瀬幹事長から、「再来年 2019 年 4 月に陸上競技場の公認期限が到来するので、一部施設面で対応の準備が必要となってきている。円盤やハンマー投げの金網ゲージは跳ね返りの危険を回避する為に金網からネットのゲージに変更しなければならないことや、学生から日没後の照明設備を付けてほしい要望など、大学の 2018 年度予算に計上してもらおうべく金額をまとめ、大学と継続折衝中」との報告がなされた。

#### 5、都留杯・箱根駅伝予選会表彰について

岩瀬幹事長から「留学から帰国してきた松島君が来年春に卒業する方向であれば準都留杯授与の対象になる。競歩の河野君は都留杯規準をクリアーしているが今まだ 2 年生でこれから卒業までにまだまだ伸びると信じている。よって現在、規準突破はしているものの授与は 4 年生の時までの楽しみとして保留したい」等補足意見が提起された。箱根駅伝予選会表彰の楯を準備している旨、会長から報告がなされた。異論なし。詳細は既にメールで全理事・監事に配信済み。

以上

議事録内容、メール方式にて出席理事確認済み